

Alain Sarde présente

Cécile de France Valérie Lemercier Albert Dupontel Claude Brasseur Dani Christopher Thompson



人生に恋をした

パリ、8区。
夢が座る時間に、
カフェも開く

un film de Danièle Thompson

Fauteuils d'orchestre

モンテーニュ通りのカフェ

監督：ダニエル・トンプソン（『グッジョブ・ド・ノエル』『シェフと素顔と、おいしい時間』）

出演：セシール・ド・フランス、ヴァレリー・ルメルシエ、アルベール・デュポンテル、クロード・ブラッスール、ダニ、クリストファー・トンプソン、ラウラ・モランテ、シドニー・ボラック、シュザンヌ・フロン
フランス映画／1時間46分／スコープサイズ／ドルビーデジタル／原題：Fauteuils d'orchestre／英題：Avenue Montaigne 提供：アミューズソフトエンタテインメント 配給：ユーロスペース

シナリオ adaptation Danièle Thompson Christopher Thompson Producteur Christine Gozlan dans des rôles de Valérie Laura Morante Sydney Pollack Suzanne Flon
Guillaume Gallienne de la Comédie Française Annette Harné François Rollin Michel Vuillemoz de la Comédie Française Françoise Lipine Daniel Benoin Nicolas Provani Une coproduction Telma Films Studio Canal TFI Films Production
Radio Film Production avec la participation de Canal+ Cinéma de la Région Île de France Varta Internationale Studio Canal                <http://www.montaignecafe.movie.jp/>

2007年セザール賞助演女優受賞（ヴァレリー・ルメルシエ）、ほか3部門ノミネート（主演女優賞・脚本賞・編集賞） 第79回アカデミー賞外国語映画賞フランス代表作品 2006年東京国際女性映画祭正式上映 2006年フランス映画祭横浜正式上映



時には人生にエスプレッソを

パリ8区、モンテーニュ通り。この通りからは美しく聳え立つエッフェル塔が見え、シャンゼリゼとジョジュ・サンクを結ぶ黄金の三角形と呼ばれる、パリきっての豪華な地区。モンテーニュ通りにはあらゆるパリがあった。劇場、オークションハウス、有名メゾン、由緒あるカフェ、そして出会いと別れ。そのカフェに集うのは、世界的なピアニストや初老の美術収集家、そして有名女優や劇場の管理人など……。さまざまな思いを持った人々の人生が、通りの一角に実在する“カフェ・ド・テートル”で交差していく。

そんな中を、祖母の言葉を胸にパリに憧れ上京し、カフェの“ギャルソン”となったジェシカが蝶のように軽やかに飛び交い、彼らの人生と一緒に奏でていくのだ。オーダーされるカフェ・クレームやソーダ水、デザート、そしてクロワッサンは、ジェシカにとって夢へのチケット。垣間見える憧れの人々の素顔とその人生に心躍らす時間が、輝く宝石のように横たわっていた。

一方、人生の成功者である人々の一見華やかな外見と、その心の底にある焦燥感や不安全感。彼らがやがて得る愛に溢れた人生が、きらびやかなパリの風景と人間の日常が映す普遍と見事に融合し、人間賛歌の極上のドラマが誕生しました。

カフェで交差する人生

ジェシカ（セシル・ド・フランス）が“ギャルソン”として働くことになるのは、由緒あるカフェ・ド・テートル。パリでも有名な、実在するそのカフェでは、映画監督が次回作についてのキャスティングについて語り、足繁く通う女優は毎朝クロワッサンを頼む。舞台の裏方は疲れを癒し、断絶状態だった親子が再会し、恋人たちは愛を語らう。小さなカフェを拠る所に、出会いが交差し拡散し、さらにジェシカが関ることで映画は大きなうねりを見せていく。

テレビドラマで人気を博す女優のカトリーヌ（ヴァレリー・ルメルシエ）は自身のキャリアに満足できずにいる。美術収集家グランペール（クロード・ブラッスール）は時間切れとなった人生で、自分にとって大切なものを見つめ直すため貴重なコレクションを放出しようとしている。世界的な人気ピアニストのジャン＝フランソワ（アルベール・デュボンテル）は、歩んできた道のりに違和感を感じ、本当に音楽を必要とする人々の前で演奏したいと悩んでいる。彼らの気持ちは、“オーケストラ・シート”という映画のオリジナル

タイトルに表わされている。「舞台が開く前、観客はよりいい席をと考え、前の席をとることに命をかける。ところが照明が落ちて気づく。“近すぎると、何も見えない”」という、映画の中の台詞に由来したタイトルに。いまここにあるものが見えず、遠くにあるものに思いを馳せることで生まれる苦悩。登場人物たちの切なる思いが、この見事な台詞に凝縮されている。

やがて運命の日。ピアノを前にしたジャン＝フランソワ、思い出の影像に去来する想いを抱えるグランペール、初日の舞台を迎えるカトリーヌそれぞれの人生が、緩やかに幕を開ける。ほろ苦い余韻を残す、しかし、至福に満ちたエンディングに向けて。

トンプソン親子とキャスト陣

ドラマチックな人生のある数日を、暖かで品のあるユーモアに包みこみ、愛に溢れた極上の人間ドラマとして昇華させたのは、監督のダニエル・トンプソンと、彼女の息子であり、共同脚本家であり、クランペールの息子役を演じたクリストファー・トンプソン。二人で手がけた前作『ブッシュ・ド・ノエル』『シェフと素顔と、おいしい時間』も暖かみのある見事な演出が話題となった。主演は、フランス版『ELLE』で読者が「友達になりたい女優1位」に選出したセシル・ド・フランス。リュディヴィーン・サニエと共演した最新作『Un secret』もフランスで大ヒット、いま最も旬な女優と言えよう。また女優のカトリーヌを演じたヴァレリー・ルメルシエは、フランスでは「ユーモアの女王」と称され、本作品でも見事セザール賞助演女優賞を受賞している。

そしてジェシカの祖母を演じたのはシュザンヌ・フロン。エディット・ピアフの秘書から映画・演劇の世界に入り、ヴェネチア映画祭女優賞も受賞した名優。写真家ロバート・キャパの婚約者でもあり、監督ジョン・ヒューストンとは長い間恋愛関係にあった。シュザンヌは、本映画の撮影終了直後に亡くなり、『モンテーニュ通りのカフェ』は彼女に捧げられている。

<http://montaignecafe-movie.jp/>

モンテーニュ通りのカフェ

監督：ダニエル・トンプソン 出演：セシル・ド・フランス、ヴァレリー・ルメルシエ、アルベール・デュボンテル、クロード・ブラッスール、ダニエル・クリストファー・トンプソン、ラウラ・モランテ、シドニー・ボラック、シュザンヌ・フロン フランス映画／1時間46分／スコープサイズ／ドルビーデジタル
原題：Fautouille d'orchestre 英題：Avenue Montaigne 日本語字幕：桜庭理恵 提供：アミューズソフトエンタテインメント 配給：ユーロスペース

4月26日(土)より、ピタースイートにロードショー!

前売鑑賞券¥1,400(税込) 絶賛発売中!

劇場窓口でお買い求めの方に
エッフェル塔キーホルダーをプレゼント(数限定)

NOMBRE IMPAIR各店舗にて『モンテーニュ通りのカフェ』とDicoのコラボTシャツを販売。

詳しくは公式HPにて。NOMBRE IMPAIR <http://nombreibmpair.jugem.jp/> <http://dico-plus.jugem.jp/>



劇場窓口、有名プレイガイドでお求めください。
ミニシアター回数券もお使いいただけます。
(当日料金 一般1,700円 大学/専門学校生1,400円
会員/シニア1,200円 高校生800円 中学生以下500円)

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

上映時間 連日

11:55
14:10
16:25
18:40

